

2017年（平成29年）10月 支部だより

親鴨会のメンバーも70歳の壁をどんどん越えてきて立派な高齢者となってきました。孫の話題も少なくなりどちらかというと病氣自慢というか薬自慢（？）が多くなってきたような気がします。

たまに現役のIBM社員と会話しますが、ハードを必死に売ってた我々の会社時代からみると、現役のビジネスの組み立て方は多様でなかなか難しいような気がします。それでも我々の現役時代から企画しているゴルフコンパだけはもう130回を越したようで、年にせいぜい6回ぐらいしか開催出来ない札幌のことを考えると、現役が中止したら先輩に怒られるという一念でいまだに続けています。メンバー不足の時は私も参加していますが、現役、OB、パートナーとIBMを愛するゴルフ達はいまだに集まってプレーしています。

ここで突然話題が変わります。私事ですが55歳でソコ会社を作ってもう15年過ぎました。経費とか利益のことは心配しないでひたすら押し売された売上目標さえやれば、優秀なコントローラーが会社の経営をやってくれたIBM育ちにとっては、経営の一番大事な利益だとかキャッシュフローだとかがぽっかり抜けてましてとても苦勞させられました。

IBMというエクセレントカンパニー育ちは経営者という観点では全く訓練されていない世間知らずを生み出していたかもしれませんね。勿論個人差がありますからこれはあくまで私の場合だけなんです。

でもなんやかんや言っても親鴨たちは皆熱烈的なIBMファン達です。現役とゴルフをしながら、ふと現役達にはグーグルやアマゾンに負けないで、世界のITをリードするような会社でいてくれよな、なんて思います。IBMという会社のメンバーとしていい人生を送れたことを貴重な財産としている我々親鴨たちから、現役へのエールを送り続けましょう。

以上

北海道支部長 長澤康夫